

2017年6月7日

## 当社中長期エネルギー削減目標設定と 全社省エネ活動『▲10』プロジェクトについて

社 長

弊社親会社である大阪製鐵グループの現行中期経営計画で設定されているエネルギー削減目標と連動する形で、当社のエネルギー削減目標を下記のとおり設定しましたのでお知らせします。合わせて、上記削減目標を達成するための全社省エネ活動『▲(デルタ)10』プロジェクトを展開し、目標達成に向け、全社員一丸となり日々省エネ活動を行います。

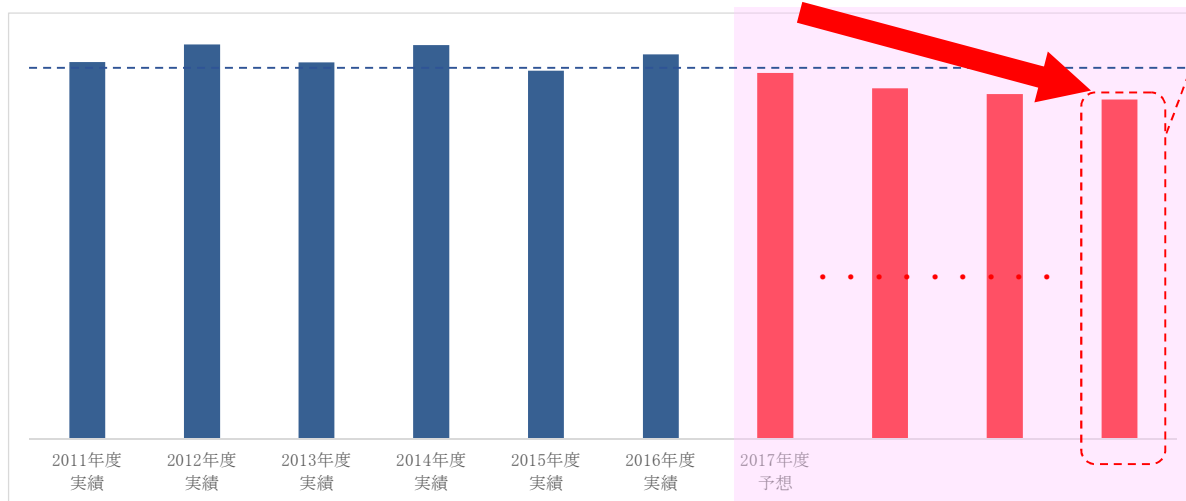
創業以来99年間エネルギー多消費型企業であった当社は、下記削減目標を達成することで、省エネルギー推進企業に転換し、地域社会、しつては地球全体の環境保全型社会の構築に貢献します。

記

### 【エネルギー削減目標】

## 2011年度全社エネルギー使用量に対して▲10%以上

(図表)当社の2011年度以降の全社エネルギー量推移(2016年度まで実績、2017年度以降は予想)



## 【省エネ活動『▲10』プロジェクト】

設定した数値目標を達成すべく、当社は省エネ活動『▲(デルタ)10\*1』プロジェクトを推進します。具体的には、下記3点の取組を実行し、エネルギー削減に努めます。

- ① 各種エネルギー多消費型設備の最新型省エネ設備への更新による省エネ
  - ▶ まず、鋼材生産ライン(製鋼、圧延)および付帯設備で、電力・ガス等エネルギー消費量の多い設備を最新版の省エネ設備に更新
  - ▶ その他、工場・オフィスの電灯、空調関連設備の省エネ設備更新を数年間かけて段階的に更新
- ② 工場内およびオフィス内設備の消し忘れ防止、ON・OFF自動制御の導入によるムダ削減
  - ▶ 鋼材生産ライン(製鋼、圧延)および付帯設備のインバータ制御、遠隔制御、タイマー制御導入等によるムダ削減
  - ▶ 人感センサー、時間帯別タイマー設置によるON・OFF自動化によるムダ削減
- ③ 生産効率向上によるエネルギー原単位削減
  - ▶ 鋼材生産ライン(製鋼、圧延)の生産性向上
- ④ オフィス、工場内の各種照明、空調機の使用量削減による省エネ
  - ▶ EMS(エネルギーマネジメントシステム)を活用したエネルギー使用量の定期モニタリング、改善策の計画・実行等、エネルギーPDCAサイクルの構築
  - ▶ 省エネ運動ポスターの掲示による従業員の省エネ意識啓蒙

### \*1. 『▲(デルタ)10』プロジェクトの名称の由来：

以下の2つが由来。

《由来1》エネルギー削減10%の削減(▲)マーク・・・削減マークが三角形(英語訳：デルタ)であるため。

《由来2》当社製品であるアングルの形状・・・アングルが三角形(英語訳：デルタ)の形状をしているため。

以 上